

初期設定について

- ナビユニットに専用CD-ROMを挿入して下さい。
- メニューより **オプション** を選択、さらに **調整** を選択し、以下の手順で初期設定を行って下さい。
- 詳細は取扱説明書の「初期設定を行うには」を御参照下さい。

エンジンON

1. ジョイスティックを左に倒し、**初期設定** を選択する。



2. **セットキー** を押し、2 km以上走行して下さい。



3. 2 km以上走行後、**セットキー** を押して下さい。



4. 自動車のトリップメーターを参考に、走行した距離を入力して下さい。ジョイスティックを上下に倒すと、100m単位で距離が表示されます。**セットキー** を押し、入力して下さい。あらかじめ距離のわかる建物等を目印にして行くと、より正確に走行距離を入力することができます。



ご注意

- できるだけ平坦で、まっすぐな道で行って下さい。
- 急加速・急発進しないで下さい。
- 走行距離が2 km以下では、初期設定できません。必ず2 km以上走行して下さい。
- 初期設定後、距離の誤差により正しい位置を表示しないことがあります。しばらく走行しているうちに補正されます。
- 初期設定ができなかった場合、次のような画面を表示します。



一 車速信号の取り出し口との接続、走行距離(2 km以上)を確認して下さい。

- 上記のことを確認し、原因不明で初期設定ができない場合には、販売店にご相談下さい。

取付確認

No.	確認項目	確認
1	GNDコードは、車体の塗装されていない金属部に接続されていますか。	
2	映像/音声コードは、ディスプレイに接続されていますか。	
3	ナビユニットに、電源コードは接続されていますか。	
4	ナビユニットに、GPSアンテナコードは接続されていますか。	
5	ナビユニットに、映像/音声コードは接続されていますか。	
6	ナビユニットに、リモコンコードは接続されていますか。	
7	ナビユニットは、専用ブラケットで固定されていますか。	
8	GPSアンテナは、正しく設置されていますか。	
9	リモコンホルダは、運転の邪魔にならない場所に設置されていますか。	
10	ナビユニットに専用CD-ROMを挿入しましたか。	
11	初期設定は、行いましたか。	
12	スモールランプは、点灯しますか。	
13	スピードメータの表示は、正常ですか。	

住友電気工業株式会社

クルーズメイト お客様ご相談窓口 0120-86-4313

ROUTE GUIDANCE NAVIGATION SYSTEM
CruiseMate

SNV-5000

取り付け説明書

目次

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 配線のしかた.....1~2 | 4. GPSアンテナの取り付け.....6 |
| 2. 部品構成.....3 | 5. 初期設定について.....7 |
| 3. ナビユニットの取り付け.....4~5 | |

取り付け時の諸注意

取り付け時の諸注意

- 本機は12Vバッテリー電源専用です。トラック、バスなどの24V電源車には使用できませんのでご注意下さい。
- ショート防止のため、取り付け時には必ずバッテリー電源の(-)側のケーブルをはずして下さい。
- 電源コードのヒューズが切れたときは、配線・コードの傷など確認し、必ず原因を確かめてから決められた値のヒューズと取り替えて下さい。

配線について

- 配線は必ず指定通りに行って下さい。間違えて配線すると、誤動作や故障の原因となります。
- コネクタ・ギボシ端子の接続は、完全にロックするまで差し込んで下さい。
- 配線の際には、座席レールなどの可動部分に線を挟まないようご注意下さい。また、ハンドルやブレーキ系統のボルトやナットを使用して、アースをとることは避けて下さい。
- 配線コードに衝撃が加わる箇所では、ビニールテープやコルゲートチューブなどでコードを保護して下さい。
- ラインコントロール付きオーディオのイルミネーション信号を取った場合、イルミ電圧が下がると、リモコンのスピーカーより異音が発生することがあります。この場合には、接続位置をスモールランプ付近に変更して下さい。

取り付けについて

- 固定金具類は必ず付属のものをお使い下さい。
- ナビユニットは直射日光が当たる場所や、ヒーターの熱風を受け易い場所、マフラー付近の熱がこもり易い場所などには、取り付けしないで下さい。
- ナビユニットは、専用CD-ROMの出し入れができる位置に取り付けて下さい。
- ナビユニットはジャイロセンサーが内蔵されています。ナビユニットは水平にしっかりと固定して下さい。(許容傾斜角度は5度以下です)。
- ナビユニットを立てたり逆さまに置くと、誤動作や故障の原因になります。
- 車体に穴をあけたり加工する必要がある場合には、販売店にご相談下さい。
- 部品を両面テープや保護シートで取り付ける場合は、取り付け場所の汚れをきれいに拭き取って下さい。

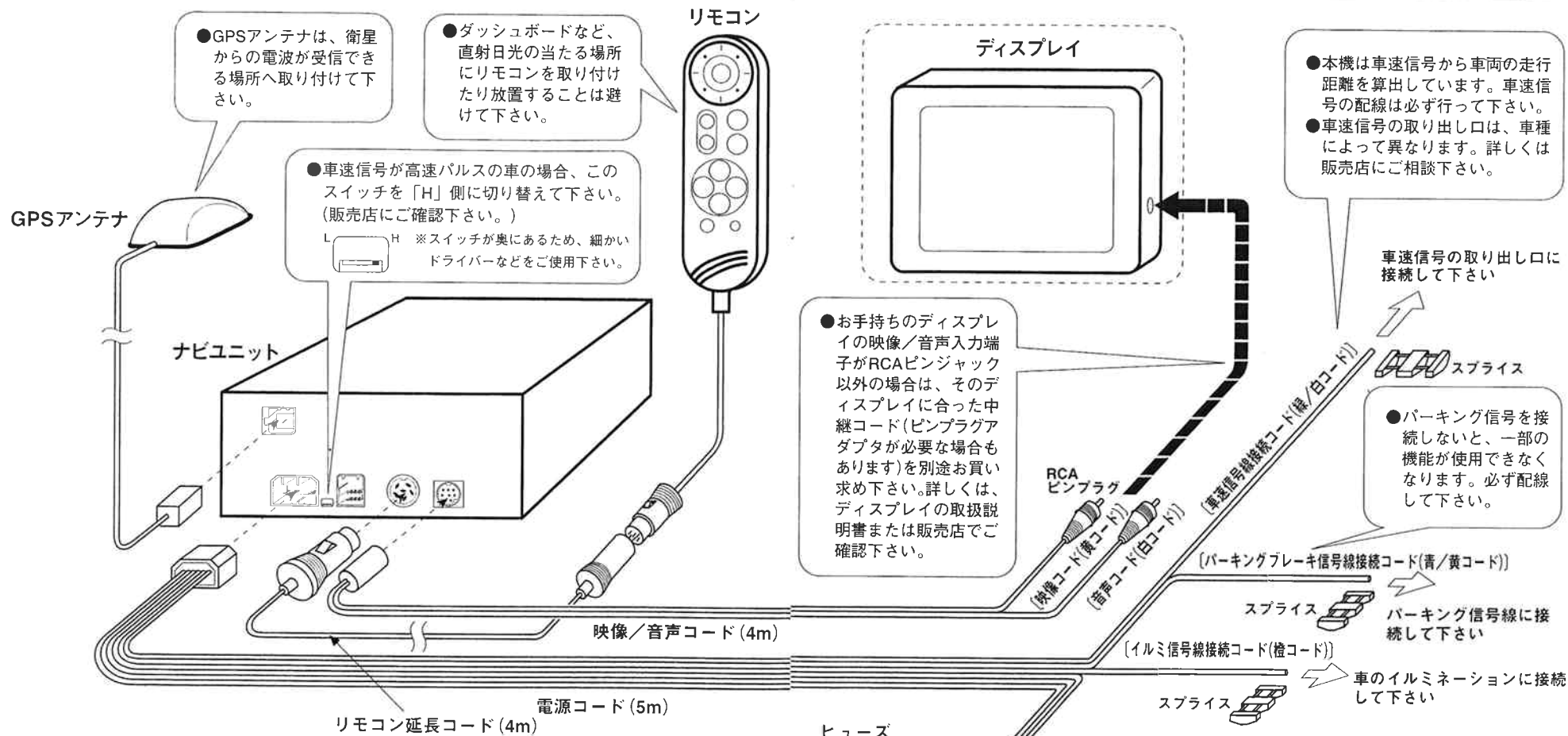
GPSアンテナについて

- GPSアンテナは、衛星の電波が遮られない場所に取り付けて下さい。
- GPSアンテナのカバー部に、金属粉の含まれる塗料(メタリック系の塗料など)を塗らないで下さい。

その他

- 車速信号の取り出し方法は、車種の年式やエンジン型式によって異なります。販売店にご相談下さい。
- 本機は精密機器です。本体に衝撃を与えないで下さい。また、雨水がかかりやすい場所には取り付けしないで下さい。
- ディスプレイとの接続は確実に行って下さい。走行中に接続が緩み、画像が乱れたりノイズが発生する恐れがあります。また映像/音声コードに負荷をかけるような取り付けは避けて下さい。

配線のしかた ……配線図に従って、正しい配線を行って下さい。



- GPSアンテナは、衛星からの電波が受信できる場所へ取り付けて下さい。
- ダッシュボードなど、直射日光の当たる場所にはリモコンを取り付けたり放置することは避けて下さい。
- 車速信号が高速パルスの車の場合、このスイッチを「H」側に切り替えて下さい。(販売店にご確認下さい。)
L H ※スイッチが奥にあるため、細かいドライバーなどをご使用下さい。

●お手持ちのディスプレイの映像/音声入力端子がRCAピンジャック以外の場合は、そのディスプレイに合った中継コード(ピンプラグアダプタが必要な場合もあります)を別途お買い求め下さい。詳しくは、ディスプレイの取扱説明書または販売店でご確認下さい。

●本機は車速信号から車両の走行距離を算出しています。車速信号の配線は必ず行って下さい。
●車速信号の取り出し口は、車種によって異なります。詳しくは販売店にご相談下さい。

●パーキング信号を接続しないと、一部の機能が使用できなくなります。必ず配線して下さい。

●スプライスを使用して接続する場合は、端子部分を切り離して下さい。

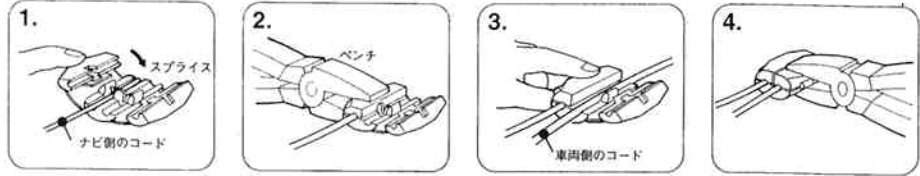
●バッテリー電源コード(黄色コード)は、常に電源が供給されている端子に接続して下さい。

ご注意

●各コネクタの抜き差しは、コネクタ部分を持って確実に行って下さい。コードを持って引っ張ると、コードが切れたり、抜ける恐れがあります。

スプライスの使い方

●接続側の線径によっては、スプライスでの接続ができない場合があります。(同梱のスプライスが使えるのは、φ0.5~0.85mmの範囲です。)



部品構成

取り付け前に、下表の部品が揃っているかご確認ください。

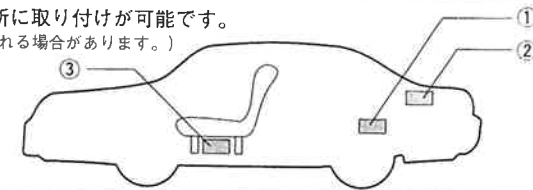
名称	品番	個数	形状	名称	品番	個数	形状	
1. ナビユニット								
1. ナビユニット	SNA-5000	1		① 電源コード (5m)	SCO-5010	1		
2. ダストストッパー (注)		1		② スプライス		5		
2. リモコンキット								
1. リモコン	SRE-5000	1		③ 映像/音声コード (4m)	SCO-5030	1		
2. リモコンホルダ		1		5. ナビユニット取り付けキット				
3. リモコン延長コード (4m)	SCO-5020	1		① 固定金具 (右)	SBR-5000	1		
4.* リモコンホルダテープ		1		② 固定金具 (左)		1		
3. GPSアンテナキット								
1. GPSアンテナ (シルバー)	SGP-5000(S)	1		③ 固定金具ベース		2		
2. 防水パッド		1		④ ハンドスクリュー	4			
3. クランパー		5		⑤ M5×8 六角ボルト	4			
4. 保護シート		1		⑥ クッションテープ	1			
5. GPSアンテナ固定テープ		1		(注)ダストストッパーのつけ方				
<p>①ツメをハめます。 ②ツメに少し力を入れてダストストッパーをたわませます。 ※あまり力を入れると、ツメが折れる恐れがあります。 ③もう一方のツメをハめます。</p>								

ナビユニットの取り付け

- ナビユニット取り付けキット (SBR-5000) をお使いの上、取り付けて下さい。
- ナビユニットは平らな場所に図のように水平に取り付けて下さい。
(立てたり逆さまに置いたりすると、誤動作の原因になりますのでご注意ください。)
- CD-ROMを取り出すことが可能な場所を選んで取り付けて下さい。

- ナビユニットは、次のような場所に取り付けが可能です。
(車種によっては取り付け位置が制限される場合があります。)

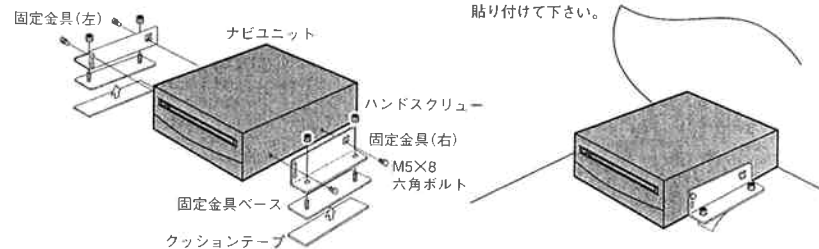
- ①トランクルーム (床上)
- ②トランクルーム (吊り下げ)
- ③フロントシート下



トランクルームの床上に取り付ける場合

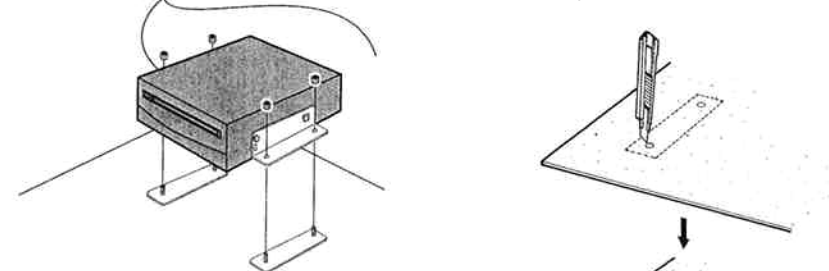
①ナビユニットの側面に固定金具を図のように下向きに六角ボルトで取り付けてください。固定金具には右・左がありますのでご注意ください。

②固定金具ベースの裏側にクッションテープを貼り、固定金具ベースと固定金具をナットで仮止めしたあとカーベットの持ち上げ取り付け位置を決め、床に固定金具ベースを貼り付けて下さい。

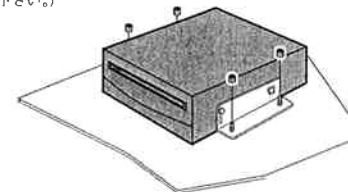


③固定金具ベースと固定金具の仮止めをはずし、ナビユニットを取り外して下さい。

④カーベットの元に戻しネジの当たる箇所をカッター等で切りとって下さい。



⑤ナビユニットをハンドスクリューで締め付けて下さい。
(注意：走行中はずれることのないよう十分締め付けて下さい。)

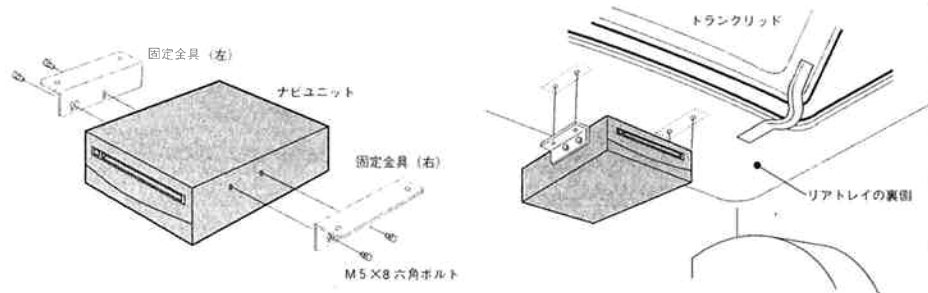


ナビユニットの取り付け

■リアトレイに吊り下げる場合

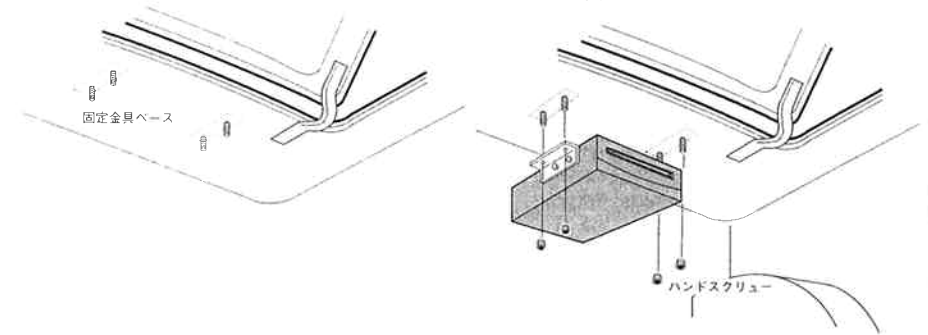
①ナビユニットの側面に固定金具を図のように上向きに六角ボルトで取り付けて下さい。固定金具には右・左がありますのでご注意ください。

②取り付け位置を決め、リアトレイにドリル等で穴を4箇所あけて下さい。



③固定金具ベースを室内側からドリル穴に差し込んで下さい。

④固定金具ベースのネジ山と固定金具のネジ穴を合わせネットで締め付けて下さい。(注意；逆さまには絶対に吊り下げないで下さい。また、走行中はずれることのないよう十分締め付けて下さい。)



■フロントシート下に取り付ける場合

取り付けについては、①と同様の手順で行って下さい。この際、次のことにご注意ください。

- ヒーターの吹き出し口の近くへの取り付けは避けて下さい。取り付ける場合には、ナビユニットに直接ヒーターの風が当たらないようにして下さい。
- 定元に取り付ける場合には、ナビユニット及びコード類に足が当たらない場所に取り付けて下さい。
- 車種によってはGPSアンテナコードの長さにより、取り付け位置が制限される場合があります。

GPSアンテナの取り付け

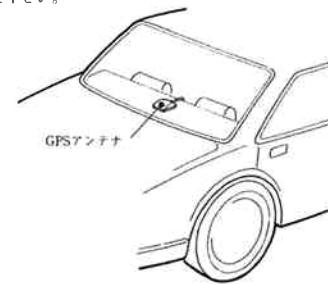
- GPSアンテナキット (SGP-5000(S)) をお使いの上、取り付けて下さい。
- GPS衛星からの電波が受信しやすいように水平に取り付けて下さい。
- 保護シートを貼りつける時は、ボディの表面をきれいにしてから貼り付けて下さい。
- アンテナのコードは少しゆとりを持たせて配線して下さい。

■車内に取り付ける場合

リアトレイの上に直接GPSアンテナ固定テープで取り付けて下さい。(室外に置く場合に比べ、受信状態が悪くなる時があります。)

セダン、ハードトップ等は視野角を広くとれますので適しています。

1 BOX、RV、軽自動車等は視野角が狭くなりますので適していません。



■ルーフに取り付ける場合

①GPSアンテナは磁石でルーフに吸着するようにになっていますので、ルーフの平らな面を選び、保護シートを間に入れ取り付けて下さい。



②ルーフガターに沿ってアンテナコードを引き込み、数カ所クランパーで固定して下さい。



■トランクに取り付ける場合

●トランクルームに取り付ける際は、別売の取り付け金具キット(SGP-3110)により、取り付けることができます。取り付け金具キット (SGP-3110) については販売店にお問い合わせ下さい。

①GPSアンテナに取り付け金具を取り付けて下さい。なお、その際、GPSアンテナについているゴムあしは外して下さい。

②押え金具をトランクと取り付け金具の間に押し込み、取り付け金具についている六角レンチで締め付けて下さい。



③トランクの開閉の際、コードに無理な力が加わらないように引き直し、トランクのアーム等にコードをクランパーで固定して下さい。



リモコンの取り付け

- リモコンキットのSRE-5000とリモコンホルダテープをお使いの上、取り付けて下さい。
- テープを貼りつける表面はきれいに拭き取っておいて下さい。
- リモコンホルダは運転の邪魔にならない場所をお選び下さい。

